

羽黒小140年の歴史を

ふりかえる記録映画の上映

8月24日、桜川市農村環境改善センターで、「羽黒小の歴史をふりかえる会」が行われ、創立140周年を迎えた羽黒小学校の歴史を記録した映画が上映されました。

この記録映画は、卒業生11人が発起人となり、「創立100周年記念式典」の際の8mmビデオ映像をDVDに再編集し、その後の40年の歴史も含めて映像を作成したもので、当日は、PTAや卒業生、学校関係者約80人が参加。発起人代表の堀政美さんは、「羽黒小の歴史を振り返り、私たちが語り部として、次の時代に繋げていきたい」と話していました。



歴史をふりかえる映像を楽しむ参加者の皆さん



日本選手権開会式で入場行進する友部リトルシニアの選手達

日本選手権出場の友部リトルシニアで

岩瀬西中学生が活躍

日本リトルシニア中学硬式野球協会関東連盟夏季大会兼日本選手権予選会で、岩瀬西中学校3年生の物井優さん・谷中亮さんと同校2年生の仙波涼人さんが所属する「友部リトルシニア」がベスト13の成績を収め、8月に開催された日本選手権(全国大会)に出場しました。

日本選手権には、全国から予選会を勝ち抜いた32チームが参集。同チームは、初戦で惜敗しましたが、原田明広監督(元読売巨人軍投手)の下、野球技術の向上のみならず心身ともに鍛えるべく、日々厳しい練習に励んでいます。これからの活躍が期待されます。

自殺を予防するには

「この心のサインに気づくつなげる」

8月8日、大和ふれあいセンター「ジュラス」において、桜川市人権教育推進委員会などが主催し、筑波大学教授で精神医学専門の高橋祥友先生を講師に迎え「桜川市人権教育講演会」を開催しました。

「この心のサインに気づくつなげる」をテーマにした講演会には、市民の皆様や関係者約450人が参加。自殺予防にはその人の孤立を防ぐことと周りの気づきや絆の回復が必要であることなど、自殺の実態や予防についての講演に参加者の皆さんは耳を傾けていました。



うつ病について説明する講師の高橋祥友先生



桜川市商工会大和事務所前で行われた「桜川市未来クラブ協同組合」による道路清掃活動の出発式の模様

市内建設業70社が

ボランティアで道路の清掃活動

8月9日「道の日」の一環として、市内の建設業70社で構成される「桜川市未来クラブ協同組合」の皆さんが、ボランティアで市内主要道路の清掃活動を行いました。

この活動は、筑西土木事務所主催で毎年行われているもので、同事務所管内の桜川・筑西・結城市で一斉に行われました。

桜川市では、猛暑の中、総勢140人の皆さんがダンブ70台に分乗し、清掃活動に汗を流しました。結果、約1トンのゴミや空き缶が回収されました。誰もが気持ちよく道路を使えるように、ゴミや空き缶などは自宅に持ち帰るようにしましょう。